



T O K Y O ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリー・クラブ



『未来を見据えて』

～Road to the Future～

東京六本木ロータリー・クラブ会長

W E E K L Y R E P O R T

『地域を育み、大陸をつなぐ』

～Building Communities

-- Bridging Continents --

国際ロータリー・クラブ会長

発行日 2011年2月14日

第261号

2010-2011年度 No. 26

本日のプログラム

平成23年2月14日

ゴッド デザイン てつがく

卓話 『GOoD DESIGN 哲学』

鈴木エドワード建築設計事務所株式会社 代表取締役
東京六本木ロータリー・クラブ 会員

鈴木 エドワード 様

クラブからのお知らせ [2月7日例会]

● 会長

- 先週よりお願いが多く申し訳ありませんが、1月30日付けでメールをしておりますロータリークラブカードの入会をお願い致します。
- 国内では大相撲春場所中止のニュースや新日鉄と住友金属合併の話、愛知県知事選で大村秀章氏の初当選と名古屋市長選で河村たかし氏の再選が決まり、今後の政局など心配です。
- 海外では中国が春節(旧正月)で明日までお休みですが、エジプトのデモ、オーストラリアでは大型サイクロンによる石炭・サトウキビ被害などが発生しており心配しています。
- 出席率向上のため出席をお願い致します。

● 幹事

- 2011-12年度RI会長テーマがカルヤン・バネルジー RI会長エレクトより発表されました。
「Reach Within to Embrace Humanity」“こころの中を見つめよう 博愛を広げるために”
- 第1回ロータリー俳句大会のお知らせ(4月16日)
- 囲碁大会のお知らせ(5月28日)
- 国際ロータリー第2750地区 第31回山の手東西グループ ゴルフ親睦予選会
4月25日(月) 相模カンツリー倶楽部にて
- ポリオ・プラスチャリティゴルフへの協力お願い
5月13日(金) 東京国際ゴルフ倶楽部

2010～2011年度 第8回理事会報告

- 米山記念奨学生受け入れについて満場一致で承認される。
- 2011-12年度地区委員会委員就任について、インターンシップ委員に山本章博会員が推薦され、承認される。
- 四半期決算報告が中川会計担当より報告される。
- ロータリー財団奨学生古川さんが交通事故に遭い怪我をした報告がなされた。
- 長期計画について会長・会長エレクト・会長ノミニーで、理事会後相談することとなった。
- 旅行計画など、親睦活動委員会を交え今後検討することとなった。



平成23年1月24日

卓話 『「小谷元彦展：幽体の知覚」紹介』

森美術館キュレーター

荒木 夏実 様

皆さまこんにちは。私は1992年から1年間、三鷹ロータリー・クラブの奨学生としてイギリスのレスター大学で勉強させていただきました。ミュージアムスタディーズという修士のコースで非常に学ぶところが多く、ミュージアムの哲学をしっかりと叩きこまれてまいりました。

小谷元彦さんは今38歳、東京芸術大学の彫刻専攻出身で、非常に若いころから活躍しております。彫刻、写真、映像など多様なメディアを使い、また現代的な感覚と技術に裏打ちされた伝統的な技法を併せ持つ作家です。今回の展覧会の「幽体の知覚」というテーマは小谷さんの作品にずっとある、そこにある見えないもの、形のないものを感じ取ってその姿を彫刻することがテーマになっています。彫刻というと非常に物質的なものというイメージですが、そうではなくてその裏側にあるもの、影とか気配とか不在によって感じることのできるようなものを形にすることで、この世とあの世、生と死の境界を探る試みがなされています。

ファントムリムという作品は5点組の写真で、今回の展覧会および小谷さん自身を最も象徴する作品です。ファントムリムは幻映視、幻視と訳され、手足の一部を失った後、まだその感覚を感じるような現象を言う医学用語です。作品の中で少女の手ひらが赤く染まっていて、そこにはラズベリーのような果実が握られています。食べ物をぐちゃぐちゃ触ったりすることって私たち子供の時は誰しもやっていて、その感覚は気持ち良くて楽しいものだったと思うんですね。その感覚が大人になるに従って正反対の感覚に変わっていく。小谷さんは

その感覚が変容していくダイナミズムに着目して、ファントムリムのように私たちの体のどこかにそういう快感が残っているのではないかと考え、その感覚を思い出させるような装置として作品を作っています。

もう一つのテーマが拘束とか強制。なにかを縛る、そこからにじみ出る欲望とか痛みみたいなものもよく作品に出てきます。例えばユリの花を樹脂で象ったものが、天井から吊られていて、花弁の部分に拘束具が付いて花弁が無理やり開かされている。これもユリの花という純粋で美しい、かわいらしい、無垢なイメージと拘束具という残酷なイメージが重ねあわされているわけです。

是非皆さんに体験していただきたいのが、今回の目玉の一つでインフェルノという巨大な装置です。インフェルノというのはダンテの神曲の地獄編。地獄のことを言うわけですが、8面のスクリーンに滝のイメージが映されていて上下が鏡張りになっている。永久に滝のイメージが続くその真っ只中に自分が立つという装置です。奈落の底に落ちて行く、あるいは高く天に上昇して行くような感覚を体感する装置です。ほかにも「伝統と革新」「不可視の物、影、存在の様々な可能性」「生と死」などのテーマで様々な作品が展示されています。

ありがとうございました。





2011-12年度RIテーマ 「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

2011年1月17日 国際ロータリー・ニュースより



「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」
ー2011年国際協議会の開会本会議において、カルヤン・バネルジーRI会長エレクトは次年度のRIテーマを発表し、ロータリアンの決意と内なる力を鼓舞しました。



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

「何かを成し遂げようと思うなら、ありとあらゆる知恵を振り絞らなければなりません。それには、まず自分自身の内側から始めるしかないので」と会長エレクト。内に秘めたる力を見出せば、世界各地で偉大なことを成し遂げることができると話します。「自らを発見し、潜在的な力を引き出し、迷わず、ひるむことなく、『出でて奉仕し』、世界で博愛を広げてください」

会長エレクトはまた、「家族」が奉仕の原点となると強調します。「私たちの住む地域社会とは、単なる個人の集まりではなく、家族によって築かれています。一つ屋根の下に暮らし、互いを支え、助け合い、共に運命を分かち合っているのが、家族というものです。良き家族が、良き隣人となり、良き地域社会をつくるのです」

ポリオ撲滅などの活動を継続する重要性も強調します。「私たちには得意とすることが数多くある」と話す会長エレクトは、きれいで安全な水の提供、識字力の向上、明日のリーダーとなる青少年の育成を例に挙げます。

「世界の変化を望むなら、あなた自身がその変化にならなければならない」というガンジーの言葉を引用して会長エレクトは語ります。「平和を望むなら、家庭に、地域社会に、自分自身の生活に平和をもたらすことから始めるのです。環境破壊に歯止めをかけ、子供の死亡率を減らし、飢えを減らしたいと望むなら、自分自身がこの変化の担い手とならなければなりません。それにはまず、自分自身の中にこそ変化を起こすことの必要性を認識しなければならないのです」



■ ニコニコBOX情報

大橋 寛治さん

高島肇久様、本日は超多忙のところを、卓話をお引受けいただき、誠にありがとうございました。

角山 一俊さん

先週末は、熱海でした。あたみ桜が満開で、春のおとづれを感じました。

篠塚 博さん

高島様、六本木RCへようこそ。
卓話よろしく願いいたします。

小笠原 正彦さん

新年好!香港から多くの人々がグランドハイアット東京に来ています。

山口 富久さん

今月は私と妻の誕生日です。

山中 祥弘さん

高島様の卓話、ありがとうございます。
見える日本でありたいものです。

宇佐見 千嘉さん

本日の卓話、楽しみにさせていただいております。

安間 百合子さん

高島さま、本日は、ご多用の中、ありがとうございます。
卓話楽しみにうかがわせていただきます。

菊田 吉夫さん

2月例会のトップを飾る高島さんのお話を大いに楽しみにしております。

日下部 真治さん

目がかゆく、くしゃみが出てきました。花粉との戦いが今年も始まりました。皆さん共に頑張りましょう!

マークエステル・スキャルシャフィキさん

48回目、普天間宮奉納してきました。

松島 正之さん

高島さん、本日の卓話を楽しみにしています。

森 佳子さん

陽差しがすっかり春らしくなりました。
高島様、本日の卓話を楽しみにしております。

安井 悦子さん

高島肇久様、本日の卓話よろしく願い致します。

渡邊 滋さん

少し寒さも和らいで来たようです。
梅の便りも聴えて来ました。
「梅一輪 一りんほどの あたたかさ」 服部嵐雪

松本 智さん

これから花粉の季節ですネ。マスクが手離なせません。

山本 良樹さん

スギ花粉を感じて来たようです。



2月7日

合計	71,000円
累計	1,805,000円

■ 次回のプログラム

平成23年2月21日

卓話『知られざる大久保利通の素顔』

社団法人 霞会館 常務理事

大久保 利泰 様

プロフィール

昭和9年生まれ

昭和35年 慶應義塾大学経済学部 卒業

横浜ゴム株式会社勤務、退社後、現職

その他

財団法人吉田茂国際基金 理事長

財団法人菊葉文化協会 理事

財団法人歴史民族博物館振興会 評議員 など

2月7日の例会出席率 (暫定)

会員の例会出席者数 35名

会員の例会出席率 74%

ゲストの参加者数 2名

※ メーキャップを含めていない暫定の人数です。

東京六本木ロータリー・クラブ

会長 篠塚 博 幹事 山口 富久

広報・週報 片岡 雅敦
委員長広報・週報 渡辺 美智子
副委員長

事務局》〒106-0032東京都港区六本木6-10-3グランドハイアット東京内 TEL:03-4333-8773 URL:http://www.tokyoroppongi-rc.jp/